

永久保存版

家族みんなで、もしもに備えよう。

ももち浜の備え

百道浜校区、そしてご家庭で「いざ、そのとき」に向けた防災への備えについてご紹介します。



真っ先にできることは「自助」
まずは自分の身を守るように備えましょう。

防災の基本は「自助」です。自分の命は自分で守る、自分のことは自分で助ける・なんとかする、ということです。そのためには、事前の備えが必要です。持ち出す避難用具、自宅の備蓄品、怪我を防ぐための家具の固定など、ご自宅の防災への備えの状況を一度確認してみませんか？
まずは自分を守ることで、家族や友人・隣人を助けにいくことができる、もう一つの「共助」につながります。「救助される人」でなく、「救助する人」になること。それが自助の取り組みの大事なポイントです。

共助
近くの人と助け合う

自助
自分の身は自分で守る

公助
消防・警察など公的支援に頼る

校区の避難場所を知っておこう

避難場所には目的に応じ「一時避難場所」と「避難所」があります。家族と離れている時は、どうする？待ち合わせ場所を決めておきましょう。

一時避難場所
災害発生時にまず避難する場所

- 百道中央公園
- 百道浜小学校
- 西南学院

避難所
荷持ちを伴う大がかりな避難を想定した場所

- 百道浜公民館
- 百道浜小学校

防災クイズ①
家に備蓄しておいた方がいい防災食料はおよそ何日分？
(答えは7)

防災クイズ②
百道浜には、平日の朝晩は家族と比べ何倍の人が集まっている？
(答えは10)

福岡市防災センターに行ってみよう！
百道浜校区にある防災センターでは災害体験ができます。震動の揺れや風速体験したり、火災時の逃げ方を教えてもらえますよ。

百道浜小 柳田先生に
お聞きしました。

学校では、日頃から避難訓練や災害時の引き取り訓練を行って、災害に備えています。災害発生時には職員主導にある避難所運営セット(防災食庫、名簿作成機、割箸、軍手、靴下)をもとにして避難所を運営します。児童在校時は保護者が引き取りに来るまで学校で居かれます。災害時の学校の状況は、安心安全メールと学校ホームページでお知らせする予定です。

百道浜校区 防災対策推進協議会
竹内雅之会長にお聞きしました。

防災の基本は「自助」であり「共助」です。百道浜では集合住宅が多く、マンション単位での「自助」という考え方も大変重要になってきます。「向らが災害に備える」と共に、お住まいの地域・マンションの管理組合・自治会での取り組み、防災ルールについて十分ご確認いただきたいと思っています。私たちは、校区全体の「避難所運営」を中心

百道浜は8割が
マンション住居！
「マンション住居」も大事

に、ルール作りや行動マニュアルの整備に取り組んでいます。校区の特徴として、多数の法人・観光客など数万人が集まる地域です。企業・法人や、複合ビルの方々と災害時に協力できる体制・ルール作りを進めています。安心安全な街づくりには、皆さんのご協力が必要です。今後ともご協力をお願ひ致します。

もしもの時のために
知っておこう
登録しておこう

**福岡市
取り組み**

- 福岡市防災避難マニュアルの作成
- 福岡市LINE公式アカウント
- 福岡市防災メール
- 防災ママカフェ
- ツナガル+ (プラス)
- 災害用伝言ダイヤル「171」

日ごとの防災食料や避難グッズなどでの準備。食料は3日分としておきましょう。お茶は防災食料と一緒に防災食料と一緒に準備しておきましょう。

登録と準備ができます。ぜひ、お茶室と一緒に防災食料を準備しておきましょう。

学生が作った
防災ノート、
無料です。

(防災クイズ答え) ① 最低でも3日分できれば1週間分の備蓄が望ましいと言われています。 ② 約10倍